

どうぞ「つぐみ文庫」へ

営を行っています。

地域家庭文庫とは、こどもたちに本や絵本を届けたいというお母さんたちの思いに基づいて1950年代後半から隆盛していく社会的な活動です。

こう書くと「意識高い系」な感じがしますが、俯瞰的にみてそう書いているだけで「玄関にこどもの本棚を置いておくので週1回2時間だけ開放する」といったところが少なくあ

りません。そんな敷居の低い活動でしたので広く全国に普及していったのです。

ただ時代の趨勢もあって減少を重ねており、かつて名寄にも4軒ありましたが現在はつぐみ文庫1軒のみです

つぐみ文庫には静かに絵本を読む子しか来てはいけないうるわけではないと思われのではありませんか。ですが読書は強要されるものではない。『本のある場所はい

つも楽しい」という思い出づくりをしている感じです。

来ては、当番の学生を連れ出して近所の公園でサッカーをしているこどもがいます。工作が好きだからと何かをつくっているこどもがいま

す。うれしいのは、こどもの頃にここに來ていたというお母さんが子連れでいらっ

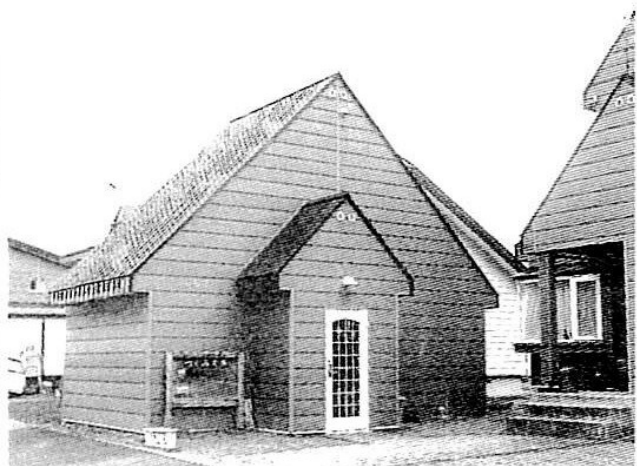
しゃることです。同じ場所にいつもあることの大切さを思われます。そん

な「おはなし」はきつと人を支える。私はつぐみ文庫でたぶん「おはなし」を守っているのでしょうか。そして、本の中には「おはなし」がたくさんあるよということを知ってもらいたいのでしょう。

個人でできることは限られています。

どれほど熱い思いがあろうと一人ではつ

いえるときが来る。けれどもバトンをつなぐという道もある。その最たるもののひとつが行政です。そこにつながりたいというわけではあ



ある場所がその大切なピースであると思っています。

■つぐみ文庫

開館日時
11月末日
まで毎週
土曜10
12時(8

月15日、9月26日休館)

住所 名寄市名寄市
西13条南丁目 市

呂方

連絡先 080-6062-0
837(堀川)

社会保育学科教授

堀川 真

私は現在、4学科を横断した学生たちと一緒に地域家庭文庫「つぐみ文庫」の運